

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年5月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年5月5日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	カナダ
留学先大学	ヨーク大学 (日本語名) York Unviersity(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 /
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: リベラルアーツ&プロフェッショナルスタディーズ 現地言語での名称: Liberal Arts and Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月上旬～12月下旬 2 学期: 1月上旬～4月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	53,000人
創立年	1959年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (CAD) (1 現地通貨 = 114 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため明治大学への通常の授業料
宿舍費	10,400	1,192,560 円	
食費	5600	640,000 円	
図書費	300	34,000 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	3,000	344,000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	3,500	400,000 円	
ビザ申請費	200	23,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	23,000 (= 円)	2,600,000 円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：HND 目的地：YYZ 経由地：

復路 出発地：YYZ 目的地：HND 経由地：YVR

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：Air Canada 料金：¥200,000

復路 航空会社：Air Canada, ANA 料金：¥200,000 ∴合計：¥400,000

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：ANA 公式サイト)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Stong, Tatham) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学公式の housing portal

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Off campus のアパート、シェアルーム等をおすすめする。

Pond Residence をおすすめする。この建物はキッチンが付いており、二人部屋タイプでもルームメイトとリビングルームを共有するような形。

当初は、ここに住む予定でいたが、明治大学生へキャンパス内の寮の申請が開始されてからは、そもそも Pond の選択肢がなく、私たちが申請する前に定員に達してしまっていた。

そのため、Stong へ入居することとなったが、この建物では汚いトイレ、シャワーをオールジェンダーで共有するため、そこにかかなりのストレスを感じた。また、住んでいる人の層も非常に悪く、夜中まで騒いだり音楽を爆音で流したりすることがほぼ毎日であり、かなりストレスと感じる環境であった。

そのため、これらの問題を housing office と 1 ヶ月以上相談し続け、やっと Tatham へ引っ越すことができた。

Tatham は Stong よりトイレも部屋も綺麗ではあるが、壁がそもそも薄いので、隣の部屋の人の電話をしている声や廊下での話し声はもろ聞こえてくる。

これらの二つの寮に住んで感じたことは、もし Pond に住むことができないのであれば、off campus に住む方が圧倒的にお得である。

Pond 以外の寮に住むと、meal plan というキャンパス内のカフェテリア、レストラン等で使えるプリペイドカードを購入することが義務付けられているため、それを全て消費することはかなり厳しいと感じた。

また、寮の月額もかなり割りだけであるため、off campus のタワーマンションのようなところでシェアハウスをすれば、寮の費用よりも安く、しかも down town の近くにすむこともできるため、とても便利な生活をする事ができると思う。

現地情報**1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。**

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: housing office)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

citizen というアプリがあり、犯罪がおこるとマップ上に表示される。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内にいると使用できる Wifi はあったが、途中で急に途切れたりするためあまり性能は良くなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を解説し、Wise を使用してカナダの銀行口座へ送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

就活用のスーツ

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

カナダの銀行口座へ wise にて送金し、そこから大学へ支払いをした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: 3 授業以上 5 授業以内	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intorduction to Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	ADMS
履修期間	Winter Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回
担当教授	Jason Yarmolinsky
授業内容	<p>COURSE DESCRIPTION & PREREQUISITES</p> <p>The broad aim of this course is to provide insight into the fundamental challenges that all organizations must address in order to succeed. Our study is divided into two parts: the internal environment of business and the external environment. “Inside the organization”, we will examine: (1) the management of employees, (2) organizational governance & structure and (3) strategy & strategic decision making. “Outside the organization”, we will examine the central forces that impact business, including technological, global, political, and societal & sustainability factors. Prerequisites: None.</p> <p>COURSE OBJECTIVES</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To examine the most significant internal challenges that organizations must address in order to succeed. 2. To explore the external environment of business and its implications. 3. To understand the challenges & opportunities facing business - both in Canada and globally. 4. To encourage critical thinking regarding issues that impact organizations. <p>These objectives will be accomplished through lectures, discussions, and exercises.</p>
試験・課題等	2 回の中間試験、1 回の期末試験
感想を自由記入	授業資料さえしっかりと押さえておけば試験で点数を取れる 出席はなし

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cross Cultural Management	異文化マネジメント
科目設置学部・研究科	ADMS
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Guler Kizilenis Ulusman
授業内容	Course objectives: The purpose of this course is to introduce you to the various frameworks and practical techniques in cross-cultural management. Some of the exciting topics that will be covered include the epistemology of culture, how culture affects human resource management, cross-cultural negotiations, multicultural workplace, and comparative management practices. This course also aims to develop students' understanding and skills in diagnosis and solving cross-cultural challenges.
試験・課題等	中間、期末試験。それに合わせて、グループプレゼンテーション、グループで授業内容をゲームにしてそれを発表するというのも期末評価の対象。出席もあり。
感想を自由記入	各国のコミュニケーションスタイル等を学ぶことができるため、良い教養となると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intermediate Macroeconomic Theory I	中級マクロ経済学
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	Winter Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Tasso Adamopoulos
授業内容	The purpose of this course is to introduce you to a set of topics and policy issues pertaining to the macro-economy, and to provide you with the theoretical tools and foundations to understand them. We will study the structure of the national economy and its measurement, economic growth and the disparities in the wealth of nations, business cycles and the determination of the level of national income in the short run, and the effects of fiscal policy on macroeconomic variables. The primary approach of the course is to stress the micro-foundations behind the macro-economy, by modeling the behavior of rational agents. Some emphasis will be placed on the Canadian economy.
試験・課題等	中間、期末試験
感想を自由記入	しっかりと授業内容を復習しておけば試験で点数をとれる

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Trade	国際貿易
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Andrey Stoyanov
授業内容	The objective of this course is to provide students with a working knowledge of the principles of international economics. The course will start with the analysis of theoretical models of international trade to study the causes of trade between two countries, direction of trade flows, and gains that trade brings to trading countries. The second part of the course deals with international trade policies such as tariffs, quotas, trade subsidies, and trade agreements.
試験・課題等	中間、期末試験
感想を自由記入	授業内容をしっかりと復習しておけば点数を撮ることができる

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Industrial Organization	産業組織論
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	Winter Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Andrey Stoyanov
授業内容	The objective of this course is to study the effects of various market structures on economic performance and conduct of modern business enterprise. In this course we apply economic theory to analyze factors that determine industry structure, and strategies that companies might use to acquire and use market power in different market situations. Specific topics covered in this course include pricing and product differentiation strategies, strategic interactions among competing firms, advertising, vertical integration and the role of government competition policy.
試験・課題等	中間、期末試験
感想を自由記入	しっかりと授業内容を復習すれば点数とれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Political Economy I	国際政治経済
科目設置学部・研究科	POLS
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Hannes Lacher
授業内容	This course examines the actors, processes and issues involved in the politics of international economic relations. At its centre stands the exploration of the dynamic relationship between processes of economic development and global patterns of power, rule, and hegemony - and their contestation. The course will introduce students to a global perspective on the formation of world order in the 19th and 20th centuries. The focus of the course will be concerned with the formation of the capitalist world economy and the modern international system. It will introduce students to concepts such as hegemony, uneven development and late-industrialization, and examine different ways of organizing global power, such as mercantilism, liberal cosmopolitanism, imperialism, etc.
試験・課題等	毎週の reading, それに対する小テスト、授業中の発言、中間、期末試験のエッセイ
感想を自由記入	reading が毎週多く、さらにそれに対して授業中に発言したり、試験では今までの reading 内容を合わせて総合的にエッセイを展開する必要があったため、勉強量はなかなか多かったと感じた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

CFN、各企業の採用サイト

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中でも、日本と同様とまではいかないが、通常通りに就活することができると感じた。
私は、ポスカリで基本的に終わりにしたが、その前後でもオンラインで面接をすることも少なくなかったため、その心配はあまりないと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	留学合格通知
	4月～7月	visa申請、航空券、履修登録、寮申請
	8月～9月	出国、授業開始
	10月～12月	就活、授業
留学/帰国年	1月～3月	新学期開始、就活
	4月～7月	学期終了、帰国、復学
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

カナダはすごく住みやすい国。

特にトロントは、大きなダウンタウンがあるため、買い物、観光、スポーツ観戦等多くのことを体験することができる。また、すこし遠出すればナイアガラの滝や、フランス語が主要語の地域であるケベック州へも行くことができるため、カナダの文化に多く触れあることができる。

カナダ人は、非常に多種多様な背景を持っている人が多く、また世界でもトップレベルにフレンドリーな国として知られているため、大抵の人が優しく接してくれる。

治安も、ダウンタウンや一部のエリアを除き、アメリカの多くの主要都市と比べてもかなり安全であり、夜でも街中を歩くことができる。

ヨーク大学は、世界 155 カ国からの留学生在籍しているといった非常に国際色豊かな大学であり、幅広い教科を扱っていることでも有名。そのため、多様な国の人々と触れ合う機会がある。

授業、寮では友達を作る機会が少ないため、オリエンテーションや放課後の活動等に参加してみるとより幅が広がると思う。

授業は、全体的に明治大学の時よりも課題が多かったり、試験が難しかったりするため、計画的に勉強をしていくことをおすすめする。

冬は長く、とても寒いので暗い気持ちになる人が多くなるという噂をよく聞くと思うが、実際一年しか滞在しない交換留学生からすると、これも経験として楽しめるため、ソリやスキーをする等、冬を全力で楽しむマインドさえ持っておけばそのような心配も全くありません。

よく学び、よく遊ぶことで、教養をつけ、新しい文化に触れることがこの交換留学の最大の成果であると感じた。

皆さんの留学が素晴らしい経験になることを祈っています。